

京城日報

第八千八百九十二號
發行所：東京市丸の内區有樂町二丁目
電話：三三三三
代售處：各埠各大書店

●我政府對提議態度

羅馬法王の請和提議に對しては、我政府は之を冷然と受け、右提議に若し植民地還附等の條件を含むことば、帝國政府は直ちに拒絶せんとす（東京電報）

●張勳氏追放計畫

北京政府は張勳氏に對し國外追放の處分を爲す可き計畫あり（北京電報）
歐洲某國に對して交渉を開始せり（北京電報）

●支那電報檢閱開始

北京政府は電報檢閱を開始せり（北京電報）

●馮段兩氏軋轢

支那大總統馮玉祥氏は國會召集を唱へ總理段祺瑞氏は參議院説を主張し、互に自衛の爲め、兩氏漸く軋轢を見ん（北京電報）

●土耳其單獨講和説

アムステルダム來電、土耳其單獨講和の間に單獨講和を締結する目的を以て彼代表者會見中なり（電報）

●英國法王提議傳達

英國政府は羅馬法王の依頼により、十四日羅馬法王に對し、英提議を傳達せり（倫敦電報）

●英鐵道員示威運動

英鐵道員は八時間労働制限を要求し、若し許容されずんば同盟罷工を起さん（示威運動をなす）（電報）

●獨帝と潜航艇戰

潛航艇戰は繼續すべし
獨逸海軍大臣ゼーデル氏は獨逸の秘密艦隊中、獨逸と會見し、潛航艇問題に關し議論せし模様を詳記し、獨逸は潛航艇は有力なる武器として永久に存在する可きものと、國際公法に最早存在せずと云ふ平和論ハルツホッフは之に同意を表明し、獨逸海軍に對するものは、潛航艇の襲撃に對し負傷したりして苦痛を云ふの理由なしと述べたり（倫敦電報）

●獨軍波蘭を怖る

獨逸は波蘭のビルズドスキ將軍を抑留したため輿論沸騰し、且つ波蘭兵を徵發せんとの企畫失敗したるがため、獨逸に對し不敏の念を生じ、居り六千の波蘭軍團兵中宣誓をなせるは其の一分五に過ぎず（倫敦電報）

●地方官如何

地方官の職務如何なるも、當分の其の職務は、言明す（東京電報）

●張督軍の挨拶

張督軍は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●國澤理事長通過

國澤理事長一行は十八日、朝來多連、國澤理事長一行は十八日、朝來多連、國澤理事長一行は十八日、朝來多連

●ハル少將通過

哈爾少將一行は十八日、朝來多連、哈爾少將一行は十八日、朝來多連

●馮進人雇員解雇

馮進人雇員は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●鮮米走り商内

朝鮮米の走り商内は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●全州農銀應募

全州農銀の應募は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●宣戰後の處置

宣戰後の處置は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●聯合加入

聯合加入は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●釜山奉天間の直通列車

可成速に實行したい考へて準備中
滿鐵理事長、國澤理事長、馮進人、雇員、解雇、ハル少將、馮進人、雇員、解雇、ハル少將

●海上の用向

海上の用向は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●九月上旬來鮮

九月上旬來鮮は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●橫斷航路と物資

橫斷航路と物資は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●移出入關係

移出入關係は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●海外貿易

海外貿易は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●封鎖解除

封鎖解除は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●夜盜發生

夜盜發生は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●三博士來鮮

三博士來鮮は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●證券應募好況

證券應募好況は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●觀劇團の歴訪

觀劇團の歴訪は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●滿鐵全線開通

滿鐵全線開通は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●人事消息

人事消息は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●浴後に

浴後には、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●將軍退京

將軍退京は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●二島理事上京

二島理事上京は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●朝鮮輕鐵新線許可

朝鮮輕鐵新線許可は、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

●獨軍波蘭を怖る

獨軍波蘭を怖るは、支那省長代理として、新舊部會の新任に對し挨拶の爲め、通津一名從者二名を隨へて、十七日夜、張勳氏に對し挨拶せり

ましたが、同所に名書の聞にある百濟河成といふ者があつて、此の兩人は兄弟同様の交はりをして居りましたが、或日飛龍内匠が河成を訪ひ、今度俺が庭内へ一ツの室を建たが是非お前に來て貰ひたい、自分ながら宜く出来たと思ふ、しかし又た他日八目と云つて他人の見る處は違ふから是非來て見ておくれ、河成は左様から、定めしお前の造へた堂故立派に出来たらう、明日行つて見やう」と約束をした、其の翌日河成は支度をして内匠の家へ参り、案内を乞ひましたが誰も出て参りません故庭へ廻つて見ると、向ふに建てあるのが二三四面の立派な堂、四方は掛け拂ひになつて居て中央に内匠が著座して居ります、河成は約束をした

縁側へ足を掛けると又閉る、悠うふ工合で何の入口も閉いて居るが、うとすると閉る縁には河成も飛龍を起して廊下ドン／＼叩き始め、引張つて見ても聞かない、申では所が開けやうとせしめて大目開て笑つて居るから、河成は大いに怒つて、河成大人を招て置いて中へ入れないのは、餘り馬鹿にした仕方、とせしめて歸つてしまふ、後を見送つて飛龍内匠、何うだ彼れも俺の庭内には驚いたらう、平常書のお慢をるから俺が意かして遣つたが、大に怒つて歸つた様子、四五日経つた行つて語をせしやう」とせしめて打地

ました、五六日経つと河成の

たが、内「オ、河原、誰も居らんが何うしたのだ」と隣手へ手を掛けてさうして聞いてみると思つた、其處に居て居りますのは女の死骸、血だらけで足が腐つたかして蛇などが大たかへて居る様子、ア、と驚き内所は其處へ腰を脱してしまい、内「ア、是は大變な處へ来た、河原に居ては何か、何うしたのだ」と言ながらうう／＼玄關先まで退出しました

[illegible]

三
日本醬油
株式會社
出張所
電話二四五番

學理と實驗の一致せる………

りん病特効新薬

日北化学製剤エフエケチンII

急性淋病、慢性淋病、消渴、
セハカク、申す所無き諸症に著し
ては速に投与せしめ、効力増進
を以て根本療法として完成する。

東京理化研究所
町田小島町

[illegible]

アナタ

新流行
浴衣
地氈

三竹
萬年筆
硯

腕巻銀
側時計
五本



最新時品展

各等一人一個限り

[illegible]

秋のぬけ毛
 種原の毛髮劑を用ひらるる方は常院の鏡
 時長北原十三男の毛に研究深
 きは世間の己に知る處也
 其他最新色白薬にきびるすばかす薬
 ちぢれ毛くせ毛直やせる薬等美顔毛髮
 品説明書送呈
 日本化粧品株式会社附屬東京美容院
 東京神田區駿河臺町九

破天荒の
富士山頂
に於ける
歯磨デー
大盛況
以て
終了
表
頂上之印

[illegible]

仁丹

夏の衛生には仁丹

第一等

金言

此種のは疑するは怪れ家の索くるなり

(書經)

世界一周通路
建設の聖

世界一周通路
建設の理
ハリマンの雄圖
米國の鐵道司記は
竟に一場の夢なり

條件に對して甚だしく不滿の意を
して居る最中であつた。彼等日本
群衆が如何考へたか云ふと、彼
の軍隊は到處に戰つて勝たざる
く、戰勝の結果は目なしとして、
露國に對し賠償金を強要し、極大
の部金を取得するの權利を有す
のである。然し半島問題に當り
政府の爲す所は、ハーグに於て
領土の提議にも因るさへ云へ、戰
勝の果實を取らざるのみ

訪を迎へた
過は歴磨を
艦が横濱
て、日本銀
表者は船の
が上陸して
其處には
日本興業
社に
和的技術に著目せられねばな
る日本國民にして、其の海
軍上の事業に於て、其の海
軍上の利益を協調して、い
如何なる利益が伴ふかを實證
するに於ては、卿等國民の物
議社に、更に多く又更に速か
められるのであります。細
太半洋行まで、而して太半
より日本まで、約一萬哩の

に及ぶ所を以て、之を吉嶺に遷すべしとあるといふのであつた。——附言に於て言うが九月四日米公使館に於てハーマン歓迎會の開かれ、翌日九月五日には日比谷の暴動が起つた。

戰時税に就て

代理監督 訪問して、
な。翌日も
行は東京に
迎は盛大を
を授け、伏
其の他、
他の隠し
園遊會等
た。

支那及び朝鮮略は、
支那管理の下に置かれて居るの
ある。此の集中統一の支那電
結果として、作業上之經濟と
旅行者に與ふる營業上、荷
及はす利益と如何に大であ
は、容易に御明察が出来るこ
思ひます。而して此の交通機
統一營業といふ事か、米民
して與ふる直接間接の利益は

政府は學の特別議會に於て茲明の處に從ひ臨時利權稅を創設して約千萬圓を徵收の上明年度の一萬圓に供するに決し既に其の大體方針を定したりと傳へらる細目の點は日中央主稅當局並に各地方稅務當局に於て逐次中心を基礎的附屬事務に調査研究之後ならは何れぞと進み

リマン氏は、米國公使館に於て常役は内大臣、通長を招き、井上氏に主入

日ハリマン
公使館に於
し、常役は
内大臣、通
長を招き、
井上氏に主
入

若しも、貴國日本に於て、右
べたる同一の政策が實行せしめられざるに、必ずや同
等と見なされ、必ずや同
結果を生ずると信じ、事業
日本の事業者、米國の私
が、其の利害關係の共通なる
の一層密着たる關係を結ぶ
の途かとらんとすることを希望し
まねば第であります」

速に
 謂ふは
 税者の範圍(一)課税の標準(二)課税の程度(四)法律効力發生の時期(三)に拘束するやに存するを疑ひをなす也今之等の事項に就て諸國現行制度の範例を究め且我が國意の在る所を付度するに(一)の初義務者に關しては獨逸、英國の如

あるが、彼等
計を懐抱せる
のであると兄
答ふる挨拶
する日本朝野
演説を試み
たのであつ
た戦争の技術
に於ける知識
を得たので
ある

此の演説は、ハリマン氏に機工
米區及び柳東の交通機關を結合
とする計畫をば、明らかに公に
なものであると言ひ得る。

諒和野
無し然らざる當時日本に
四國の事情は、不承
て、彼の雄大な計畫の遂行
するに困難なる場合であつた
故かと云へば、恰復其由は、ボ
マクスに於ける日露戦争秘密の

例へば前者は個人として獨逸に
民及び帝國國內に

◇住所又は居所を有す

國人を舉げ法人として會社、銀
勞團組合、銀業組合、金銀組合
後者は英本國に於て並に英領
住者にして英本國外に於て商業又
業を經營する者(但し耕作、職
は服御自由職業を除く)を指定

或種の制限を附し之

◇或種の制限を附し之を表
 現せざるに非ずやと察せらる(二)
 の説は標準には英佛獨を始め其の他
 の諸國共に多く戰前の平均利益を算
 定し之を標準とし之に超過せる部分
 に課税せざるが獨り米國が必要の償費
 をを除せる純收益とせる一單稅を明
 かに規定す。又海關協定の一節に據
 るものならざるべきか(三)の税率は
 英國が八割佛國が大割米國が一割二
 分五厘と最廉價を與ふるに附するべ
 きと云ふを得ません。然し昌城、羅開上
 が、實君を思つて、
 手段を是に於てなく、の場合どうも
 已むを得ません。昌城、羅開上
 なされ、權限は確かに實君を思つて
 行れられざる。さうしてゐた論議
 は俄に靜になつて、さうしたところ
 だが、しかし左様でなければ如何とい
 はれたあんな暴動を「それが時
 機にあつたのである所だ」昌城、羅
 開上が腹を切つて分けた。昌城、羅
 開上に自分から續けられてゐるん
 だや、誰かと言へるが、それだから
 昌城、羅開上は全果敢に行動する

餘の各國に於ては、通關利益の名を以て之を數種に區別し、最低五割の税率を課せたるを見る（如法律効力の附屬即ち利得稅法に力をもせしむるや否に依ては諸共戰後、間もなく此稅法を制定するに由れど多く濶及力を附したるに本邦も亦此舉に出づべきが

彼も分るまい。おのづから、何故だつて、それは私の鑑定では、嬢様は薩長に今度の盗賊を知つてゐるからといふやう、さういふ理由から其名を吐かせる事は金儲け出ないんやうで、爺様は唯は、今、お聞にゐるが、自分が不思議な老人に對する、今迄の反感が段々消えてゆく氣持した、そして様々うなづかした。感じた。貴方が御伯に逢へたら、嬢

如き事はなされるべし結局の年度
源とする目的を以て施行前一箇
位に廻らしむるものならんか（特

◆自然は恐ろしくない。我々は
環境を破壊し、其の環境に害を
与へ、その害が我々の身に及ぶ
の材料を破壊する。因らば、我
々の身は、自然の中を穿つて、
掘り出す。自然は恐ろしくなく

雑誌 砂

「馬鹿な人だな、賢い餘地は無い
ていかうぞ」と老人は笑つてい
ふやないか。さう見てゐる譯氣が觸つて
ゐるのに、爺さんは老人の言に飽き飽き
くよりは寧ろ希望に充ちたものだ、こ
して老人に向つて、「さうだから私は
明老英國に従ひまへ、どうもまあ
少し清廷でゐても貴方は私のやうな
御経験がないから、私と馬鹿になら

き松の



誰たれ

(註)

く、さうも、さうになつて、「よしや實
は私も君と同様に愛嬌があるのか
や」と云ふのは、
「姫、姫のやうな純潔な御嬢様さへ
ない、賤しい高貴な方はあつたが、
かし方様だね、宮室ではまほ何
に優劣は無いと思ふのさ、兎に
私は三年も其女に戀して、一所に
つかへは所謂女房孝行や、
實を盡したつもりなのに其女は矢

「御老人、貴方が従来の御親切く御禮に上げますよ。窮富は麗なつて、しかし口後は断然御敵します、私が名譽恢復の爲に戦ふのは榮耀が私の手に歸つてくると思つたからです。今日になつてと其望はありません、私はもうなつても可いのです。言ふまでも窮富は自叙の決心を擧げてゐるが、それは、何にても可い」

男の所へ往つてしまひました。ぢや、通し
かも男の方からは路付けられ、通
ぢやつたのに、いや昌良、實を云
はれども貴方同様其時はもう死のうら
と思ひましたやうに、「此方は其對
の男といふのを御承知なですか。
此間にて老人は黙頭で左隣、まゐ
つてゐましたがやうに」知つてお出
だつたら貴方は其男にどうなさいま

出張所移轉

出張所移轉廣告
 弊社鐘路出張所電話二二二番は從來仁寺
 洞變壓所側にて御不便に有之候處今般鐘路
 二丁目八十九番地(鐘路警察署前)へ移轉
 仕り一層御便宜相計可申候間續々御用命被
 仰付度此段謹告仕候也
 大正六年八月十六日
 京誠電氣株式會社

參謀總長上原勇作閣下題辭
陸軍大臣大島健一閣下題辭
陸軍一等主計山田久太郎著

近時の戦争

開闢以來幾千年、世界の歴史は殆ど戦争を以て終結する
云ふに妨けず。國家の對立と人類の生存とに於て、戰
争は到底防遏す可からざるものと與に、亦た之を豫知するこ
と

新刊 四六版並製
定價五十錢
重裝金六錢
發賣

萬古月伴之奇事 全一冊

虎の巻

唯一の

關する

發行所

發賣所

東京市座橋區三吉町
東區口座一三〇號

京城大平通一丁目
郵政京城三〇〇番

京城日報社代理部

民友社

此の書は朝鮮唯一の名作小説にして、韓文に印刷し數十萬部を賣り盡さず此の好評を博したるもの今日日文に翻譯した内地人士の一致を乞ふべき發賣所 京城本町一丁目 大塚洋書店 同、馬路三丁目 漢城省館

烈女白魚女春香傳 五拾冊

實 南洋に來れ

青年よ奮てつ

在新嘉坡工部土役田忠順氏
大抵多國民新渡

碁界の快傑五段野澤竹朝先生著 和装箱入全二冊
 一圓廿級以上入二冊

打碁と要領

本書は著者の始園碁の要領（前者憲法）にして碁界の満堂を空
 めて示されたもの快者也加ふるに打碁廿五局を布
 陣・挑戦・侵分に至る定憲法に據り平易上達必定の實力養成書也
 に細説せられたれば初學者にても一讀

三五七五二番長城京
 號屋阪大
 金六八三二六八四新電

業之

文明の恥辱

米國工業界の最新現象

戰後展發の兩曹達會社

極東中心論

關西中心論

侯爵 大隈重信

法學博士 神戸正雄

痛快極
痔科
火
藥
 白狐の祟り…漢山
 夢金(落語)國統
 捨丸の由來…柳杭
 二錢の割前…小せん
 九
 月
 號
 室
 四十
 一
 稅
 錢
 半

同業
 補助辭退
 同盟罷業觀
 東商新會頭藤山雷太氏
 新商店繁榮の新研究
 振つた米國の店節の
 資本十錢の大貿易商經歷

讀い白面
 誌新
 娘奥
 浪々
 吉野
 太夫
 益々佳境に進み興味津々……兵衛
 印籠の鑑定
 娘奥
 浪々
 吉野
 太夫
 益々佳境に進み興味津々……兵衛
 印籠の鑑定
 娘奥
 浪々
 吉野
 太夫
 益々佳境に進み興味津々……兵衛
 印籠の鑑定

本日之業實

青年 よ **奮** てつ
南洋 に **來** れ
犬死 多 **國民** 博士
文明 の **恥辱** 博士
極東 中心 **論** 侯爵 大隈重信
關西 中心 **論** 法學博士 神戸正雄
大商船 の **航路**
補助 **辭退** を許す
同盟 **罷業** **觀**
資格 者 **大**
商人 にあらず **博** 士

痛快極まる面白く讀物

講談雜誌

本書は著者の始園其の要略
陳てがされたなる迄法に據り
陣、排戦、侵分に至る迄法に據り
に細説せられたれば初學者にても

打基

要領
 三十五星
 七號
 園藝雑誌に於て世界の渴望せる空
 易の快著也加ふるに打拵廿五局を布
 讀上達必定る實力養成會也

木村又藏

藥 罐 (落語) 三つばめ
 日狐の祟り 淡山
 夢 金落語 國枝
 括丸の由來 柳枝
 錢の割前 小せん

堀部 高田の馬場
 衛兵部 大眼目長講州員
 奥州 如燕

浪白 松の最期
 永々 喝采の長壽大團圓 國玉

大目 印籠の鑑定
 益々佳境に進み與陳津々

西山臺 原の仇討 山貞
 河合源次郎 越南
 雜錄 奇神雜話 廣瀬

吉原の宿 山典
 天明白浪 癡婆やふち現

博文館
 東京市日市橋本區附本

使大歡迎會

○協商側代表者挨拶

首領の會合

○日支借款行悩み乎

西比利亞へ

○露國封鎖解除確實

隙を無からしめたる、（電報）
 少せんとすること等の爲なりと

○南方名士

に二百餘名は、是等に船價の爲め渡航不便なるべきも、議員の過半數を

電に據れば十六日より國境封
せられたりと(元山傳)
▲奉天より
在奉天人請願 對俄換宣

祭の上歸奉の途に就く苦なり
(大連特電)

は地旅順を引揚げ大連一泊の上土
臺南丸にて出發赴任の途に就く

本刻二一四八冊を算し此の價
計五十三萬八千五百八十四圓餘
せり而して之を前年同期間と比

いものと思ふ。而して偶々其の
際を見れば、餘りに書物と懸隔

他港地口

は毫も自から慚づ可き所以を、
めざる也。

支那の政界

直ちに中村前縣東都督を訪問し、

開を機てたさやうで其の距離が
是されたこともある、舊國會を開
いふ話もある、鴨物入で一見聞

裁に服従すとの一事を條
して之を報督軍に請願したる處
並は之を許可したりと

▲滅之部

居りし有志者も又斯く發起人會
於て具體的に候補地として發表し

●鮮満急行列車遅延土

被害面積六十三町歩に達せり、
於ては埋没若くは流失せるもの

●林獸醫部長著任期

▲増之部

といふことになる、戴^{たい}戴^{がい}督^{とく}軍^{ぐん}が死^したかどうかは不^ふ分^{ぶん}明^{めい}だ、雲^{うん}貴^き兩^{りやう}軍^{ぐん}とのちがひ

少しの暗闇では僅に殘餘の艦隊がしつかしてくれさへすれば相

いふも、それだけでは湖南人こなんじんも

督軍より同行整理に懸する布告
し然る後開業せんとむたるに此
ひ者城附近の

商業登記公告

時建築課陸軍技師黒田竹二氏は湯
の洪水により被害を受けたる大田

以上就山宮局倉庫渡
古銅管式壹六六

●地均工事請負入札

新築落成

▲陸からは獨逸海からは英國の壓を受けて却々舵が取りにくい▲

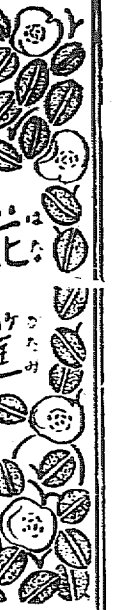
最新刊

軍装雄々しく馬を驅つて國境守備を巡閱せらるゝ相だ▲たしかに女

學生詩年
修養良材
作文車範

大邱小麥回著狀況
（十五日）

[illegible]



松田竹の人物

自分の遠慮であつたことを悔いた
「松田竹の人物」
時までも、其勇氣があるやうに感じ
た。今更には、田舎や
「松田竹の人物」
時までも、其勇氣があるやうに感じ
た。今更には、田舎や



「松田竹の人物」
時までも、其勇氣があるやうに感じ
た。今更には、田舎や

「松田竹の人物」
時までも、其勇氣があるやうに感じ
た。今更には、田舎や

「松田竹の人物」
時までも、其勇氣があるやうに感じ
た。今更には、田舎や

「松田竹の人物」
時までも、其勇氣があるやうに感じ
た。今更には、田舎や

夏ノ胃
胃病
良薬
胃活

清腸
最新良劑
高貴薬配
くたりめど

暑いく大阪
暑さを忘れる身嗜みに
レイト水白粉
行水を上つてから
お風呂がサリと
心持が軽くなる